

- 立科小学校/午前9時～午前11時30分
電話 56-3131 (呼)・有線2190 (呼)
- 立科中学校/午後2時～午後5時
電話 56-1076 (呼)・有線2251 (呼)
- 立科町児童館/
午前 11時40分～午後1時30分
電話 56-0303 (直通)
有線 8889 (直通)

※予約をされる方は児童館または小・中学校の
教頭先生へご連絡をお願いします。

「大人の生きる姿」と 「子どもの成長」の 確かな相関関係

立科町教育相談員 岩上起美男

子は親を映す鏡……。
学校は社会の縮図……。

この教えは、「大人の生きる姿」と「子どもの成長」との関係には確かな相関があることを示しています。

それゆえ、児童・生徒が充実した学校生活を送るためには、大人が、我欲に汲々とすることなく、日々誠実に、正直に生きることが求められています。

学校教育は社会の同心円上にあり、大人や大人社会の「光」の面が、学校教育の場に、夢や希望、感動、元氣、安心をもたらしていると同時に、社会の縮図として、社会で起こっていることが、学校教育の場において、その規模や程度を縮小したかたちで起こっており、大人や大人社会の「影」の部分が、子どもの「心の育ち」に悪しき影響を及ぼしているケースが少なくないからです。

したがって、昨秋、中教審が、「道徳の時間」を正式な教科にして、検定教科書と評価を導入するよう文部科学大臣に答申しましたが、大人が、子どもは大人の生きる姿を映す鏡であり、学校は社会の縮図であるという自覚を欠きますと、道徳科になっても、子どもの「豊かな心」を育むことは難しいと思います。

大人が不誠実にして不見識、傲慢、強欲、厚顔無恥であるのに、そして、大人

社会で、あつてはならない犯罪や不正行為、嘆かわしい出来事が続発しているのに、子どもにだけ「道徳」を求めるのは、大人の身勝手な浅慮というものです。生活や仕事に追われる繁忙な日々であつても、大人が誠実に、正直に生きる姿勢がなければ、「道徳の時間」の教科格上げも、大人の精神の脆弱化の付を安易に子どもに回しているだけです。

今日の日本は、「子育ての大変な時代」と言われてから随分久しくなります。

しかし、その大変さにもかかわらず、日本の学校教育は、よくぞ「今」とどまっていると思えます。深刻な課題や難題が幾重にも絡み合っている今日の学校教育現場で、児童・生徒諸君や先生方、親御さんが誠実に頑張っている姿に接するたびにそう思い、知らず頭が下がるのです。

危機的状況と言われ続けてきた日本の学校が、懸命に「今」とどまっているということは、取りも直さず、「子どもの成長」に好ましい影響をもたらしている日本及び日本人の凄さや素晴らしさが、今日の学校教育にも脈々と伝承されていることを意味しています。なぜなら、「大人の生きる姿」と「子どもの成長」には、やはり明らかに密接な相関関係があるからです。

「子どもの成長」に好ましい影響を与えていると思われる日本（日本人）の文化や伝統、精神は、次のような、親日家・知日家のコメント、世界の檜舞台で活躍している日本の運動選手の姿、そして、「世界の日本人ジョーク」が、端的に指摘しているように思います。

滞在期間5年のインドの男性（34歳）が、日本の好きなどころを、「今日の続きとしての明日を、明日の続きとしての明日を安心して待つことができる国。精巧で、信頼できるメイド・イン・ジャパン。女性の着物姿の美しさ。誠実。礼儀正しさ。世界から尊敬される仕事の仕方。」と述べています。（平成18年文藝春秋8月臨時増刊号）

イチロー選手が、今シーズン移籍したマイアミ・マーリンズで、厳しい出場機会にもめげずに試合で活躍したとき、監督やコーチの、「イチローこそ、真のプロフェッショナルだ。いかなる状況下においても、決して準備を怠らない。メジャーリーグ野手最高齢（41歳）にもかかわらず、常に、走攻守はつらつとプレーし、期待に応えてくれる。」という談話に接しますと、同じ日本人として、生きる場は異なっても、自分も自分なりに頑張ろうという元氣が湧いてきます。